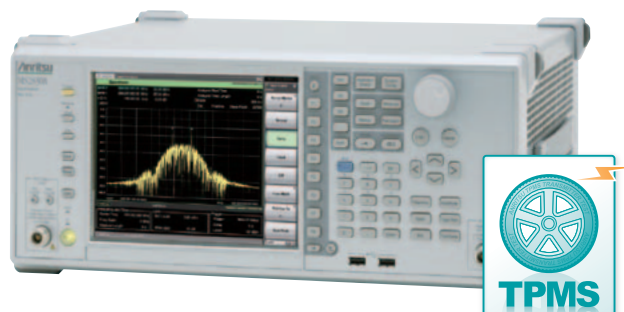


TPMS送信機テスト

タイヤの悲鳴を確実に届けるために

MS2830A
シグナルアナライザ



TPMS送信機テストの常識を変える シグナルアナライザ MS2830A

機能・性能を絞り込みTPMSの普及に向けた低価格化を実現

アンリツは、通信用計測器で培った技術により、安全・安心の確保のためにTPMSの展開を後押ししてまいります。

TPMS(タイヤ空気圧監視システム)は、自動車のタイヤの空気圧や温度を監視するシステムです。

欧州や韓国などで法制化されることに伴い、本格的な普及が見込まれています。そのため、TPMS送信機メーカーでは、TPMS送信機の生産増への対応として、検査の効率化や検査設備の増設が差し迫った課題になっています。

アンリツは、TPMS送信機の送信信号のテストに必要な機能・性能に絞り込み、TPMSの普及に要求される低価格化を実現した、シグナルアナライザ MS2830Aで検査の効率化と検査設備増設の課題に応えます。

自動車の安全・安心のキーデバイスとなるTPMSの普及に向け、アンリツは、通信用計測器で培った技術をTPMS送信機の生産における送信機テストへ活かし、TPMSの展開を後押ししていきます。

リアルタイムスペクトラムアナライザをお使いのお客様へ

信号の時間変化を観測できるリアルタイムスペクトラムアナライザは、FSK変調のバースト信号を使用するTPMS信号を高速、高精度に測定できますが、TPMS送信機の生産用測定器としては過剰な機能も多く、高額であるという問題点があります。アンリツのシグナルアナライザ MS2830Aは、リアルタイムスペクトラムアナライザと同等以上の測定速度と測定精度をもちつつ、解析帯域幅10MHzのオプションなど、TPMS送信機の生産用途に最適化することにより、一般的なリアルタイムスペクトラムアナライザに比べ、1/3の価格を実現しています。

検査コスト **1/3** に削減*

リアルタイムスペクトラムアナライザ

MS2830A シグナルアナライザ

測定速度、測定精度は同等以上*

*：一般的なリアルタイムスペクトラムアナライザとの比較

掃引型スペクトラムアナライザをお使いのお客様へ

掃引型スペクトラムアナライザは、FSK変調のバースト信号を測定する際には、測定時間*が長くなり、検査コストが上昇する課題があります。

アンリツのシグナルアナライザ MS2830Aは、FFT法を使用することにより、高精度に測定しながらも、掃引型スペクトラムアナライザと比較して測定時間を1/1000に短縮できます。少ないライン数での大量生産および歩留まり改善を実現します。

*: 測定時間 = 掃引時間 (バースト時間 × トレースポイント数)

- **高速測定:** 1/1000の測定時間により、検査コストの低減
- **高精度測定:** 歩留まり改善による安定的な生産を提供



これからTPMS送信機のビジネスを検討されているお客様へ

アンリツのシグナルアナライザ MS2830Aは、初期投資を抑えつつ、競争力のある製品の製造を可能にします。機能・性能を絞り込み、TPMSの普及に向けた低価格化を実現しながら、高速測定により測定時間を1/1000に短縮でき、1台で多くの生産量が確保できるため、初期投資を抑えることができます。

アンリツは、通信用計測器で培った技術により、安全・安心の確保のためにTPMSの展開を後押ししてまいります。

オーダリング・インフォメーション (抜粋)

ご契約にあたっては、形名・記号、品名、数量をご指定ください。
品名は、現品の表記と異なる場合がありますので、ご了承ください。

型名・記号	品名
- 本体 -	
MS2830A	シグナルアナライザ
- オプション -	
MS2830A-006	解析帯域幅 10 MHz
MS2830A-040	3.6GHz シグナルアナライザ